

広島

HIROSHIMA



2011(下)

ペ

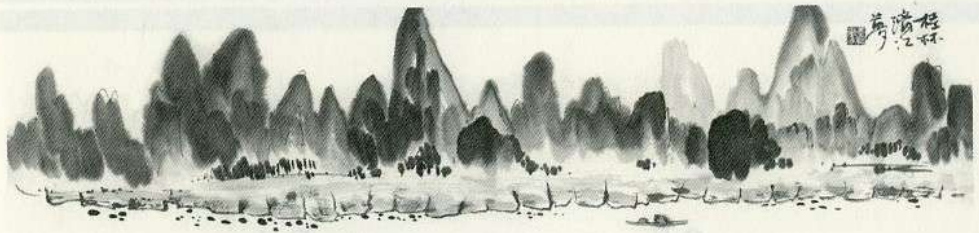
ン

HIROSHIMA

2011(下)



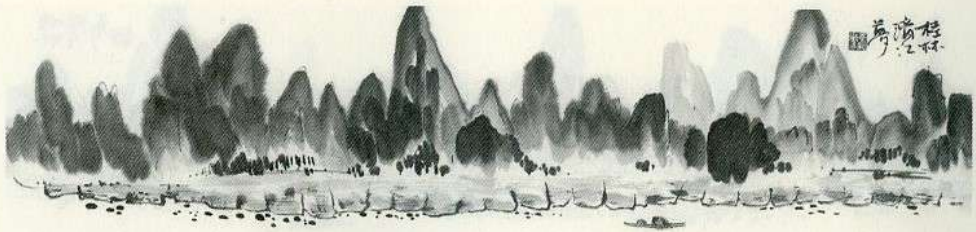
広島ペンクラブ



表紙●江川政昭 題字●大木 茂 目次カット●網田酔雨 扉●川堀耕平
 ギャラリー●杉原茂右衛門／新田稻實／船田玉樹／新井勝利／赤松和彦／
 新本 稔／小林和作／藤川九郎／島崎鶏二 表三●加山又造

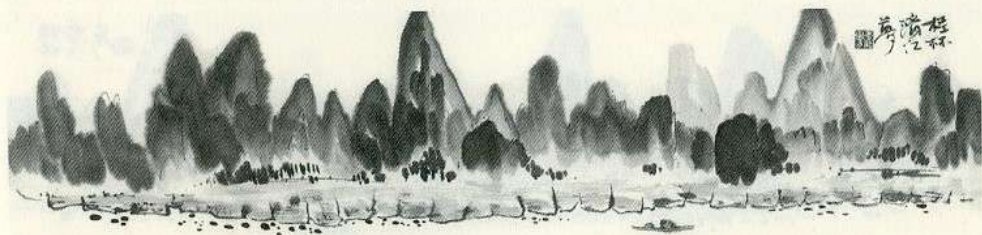
《目次》

山本 光珠……………茜の君―三月八日板倉昭子女史を送る……………	17
天瀬 裕康……………演劇アトランダム日欧露……………	18
檜垣 昭光……………幻想の旅「過ぎ去りし香り」……………	22
中田みちよ…………… 特別寄稿 二百年の交流……………	26
小杉 葛雄……………ドイツからの健気な便り……………	27
原田 佳子……………マドンナの微笑み……………	28
夏目 康文……………喜寿の手習い……………	29
碓井 静照……………加茂岩倉遺跡を再度訪ねて……………	30
梶 杏子……………ふつつかも……………	31
田中 康夫……………旅ゆけば……………(14) 幻の美女を訪ねて……………	32
横山 邦治……………大連流連足掛け十年(六)……………	33
北川 建次……………日本は天災地変の展覧会場なのである……………	34
富沢 佐一……………わが家の戦争……………	35
福田 康彦……………卒業式と袴……………	36
川堀 耕平……………百聞不如一見……………	37
舛井 寛一……………終戦の詔勅……………	38
亀井 一夫……………七十古来希也……………	39
梶川 咸子……………ヒッチハイク……………	40

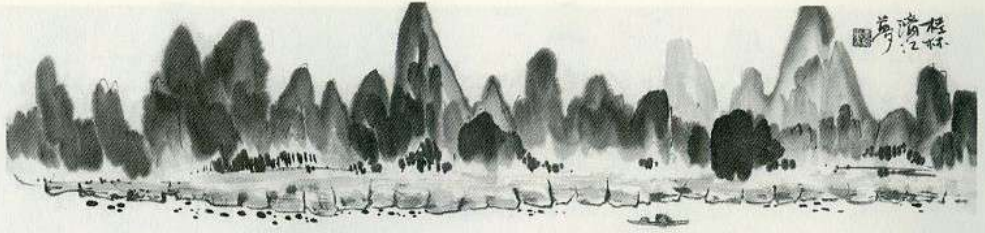


松崎 為

荒井 輝雄	三秒が待てない	41
袁 葉	トレーニングをしながら	42
石井 康隆	久し振りの満員電車	43
小野 文孝	ニュージールランド地震	44
玉井田 泰	マスメディアの今後	45
中下 毬子	十葉	46
木村 進匡	気が沈む	47
舛田 嘉之	今、思うこと	48
前田 和美	煮豆	49
新川 貞之	鬘光遺作展	50
生和 秀敏	学位名称の多様性	51
太刀川 類	迷信生物学「地球の大家族」	52
中尾 建三	田原坂	53
江川 政昭	闘病も仕事も人生	54
久保田靖子	砂谷闘争	55
迫田 勝明	ノアの方舟	56
秋山 光智	東日本大震災	57
長崎 孝	遺稿 原爆日記より	58
新田 和雄	陸 共和国・むつきようわこく	59
原 時彦	回顧六十年	60
木川 雅樹	記憶の骨格標本	61
赤松 和彦	兔追いしかの山	62
小池 聖一	史料との出会い(序)	63
東 和義	東日本大震災	64



タケダヒロコ	ボジョレ・ヌーボー秘話	65
吉村 馬洗	遺稿 天地庵の春日	66
永田 稔衛	自選回想歌(その五)	67
河本 尚子	私のパートナー	68
山根 興哉	宮島お砂焼の由来(二)	69
上田由美子	生まれて来たからには	70
難波 紘二	飯島先生(その六)	71
松本 義之	『太平洋の奇跡』有感	72
伊藤 秀輔	アユタヤ紀行	73
大谷美奈子	母と京都へ	74
高橋 昭三	十風子句碑の思い出	75
片柳 寛	ほうむり	76
世木田寛子	イソップに耳を	77
大島 邦夫	ステージ衣装	78
小畠 哲	入学試験の思い出(その一) 汚職事件始末記	79
土屋 孝子	母のこと(12) 少し嬉しく哀しくて	80
田中 泉	ハワイで遭ったツナミ	81
高橋 博暢	毎日が日曜日	82
足立 柳子	お墓の前	83
久保田秀男	楽しい病院通い	84
花井 隆爾	鯰大事	85
三上寿磨子	思いくるくる回る日々	86
今田 鷗蹊	醜女を愛した武将	87
正木 嗣鵬	中国渡来人の書(11) 揚州八怪・鄭燮	88



松村 哲郎

谷本 直隆	卯年に寄せて	89
松村 誠	東日本大震災の医療支援戦略	90
西村 哲郎	インペーター「二〇一一年三月十一日」	91
井上 哲一	牡蛎の醍醐味	92
中島 脩	高杉晋作(4)晋作の萩脱出(4)	93
廣田 健吾	お蔭様社会	94
上田みどり	世界へ羽ばたくバレリーナたち	95
務中 昌己	耳寄りな話	96
豊嶋 睦	もみじ狩り	97
板倉 昭子	遺詠 病みて	98
川村 毅	織田幹雄先生を偲んで(1)	99
渡辺 玲子	怖い、奇妙な、哀しい芝居	100
森田 繁昌	極楽荘ルージュ	101
新本 稔	「さくら」に乗って	102
長谷川是求	中国のGNPについて	103
大下 徳也	遂に正体を現した原発	104
稲田 公子	寺のひるね	105
小笠 邦久	天草の旅を終わって	106
有田 博司	激変の淵	107
吉中 康磨	今の私にできることー「ハチドリのひとしずく」	108
佐藤伊佐雄	立ちけり春が	109
大谷 育平	改革・開放から和諧(調和)社会へ	110
吉村 良哉	ラ・クンパルシータ	111
久村 敬夫	義援金あれこれ	112



寛 義之……雲の風景……………113
 今泉ただし……夏の日……………114
 次号原稿の案内……………115
 広島ベンクラブ規約……………116
 編集人記……………118
 表紙の言葉……………126

船溜り

江川 政昭 (えがわ まさあき) 油彩80号

昭和二十二年(一九四七) 広島市生まれ。

修道中、高校をへて、四十七年に広島大学医学部を卒業。

平成元年(一九八九) 広島市東区曙二丁目にて、江川皮ふ科クリニック

を開業。

現在、元陽会、杏林画会、日本医家芸術クラブに所属。

○西短歌会……………119
 ○横田安楽堂……………119
 ○広島経済大学……………120
 ○芸術新潮……………121
 ○ソニー……………122
 ○木村神経科内科……………123
 ○榎垣外科医院……………123
 ○日本基準寝具……………124
 ○今村石材……………119
 ○中尾鉄工所……………120
 ○太陽俳句会……………120
 ○天瀬裕康……………121
 ○真樹社……………122
 ○江川皮ふ科クリニック……………123
 ○川堀病院……………124
 ○長崎病院……………125
 ○キャンノン……………119
 ○文藝春秋……………120
 ○マスカン……………121
 ○広島文芸懇話会……………122
 ○西日本日中旅行社……………122
 ○新本クリニック……………123
 ○麗川病院……………124
 ○高陽ニュータウン病院……………125